

# 新しい価値観との出会い、目からウロコの「三方よし」 「三方よし」ってなに？ 「CSR」ってなに？

三方よしとCSRはおなじ考え？ 違うもの？ それとも比べること自体間違っている？

そんな疑問を解決すべく、それぞれの理念の基本的な考え方から質問を交えながらわかりやすく紐解いていきます。  
今注目される近江商人の三方よしの経営理念「売り手よし 買い手よし 世間よし」は、他国商いを行ってきた商人ならでの経験から生まれ、CSRの源流ともいわれています。

また、ヨーロッパから始まり、世界に広まるCSR (Corporate Social Responsibility) は、企業が社会とともに発展していくための活動といえます。本講座では両者の関係について考えます。

## 新しい価値観との出会い！

目からウロコの「三方よし講座」シリーズ第1回目のスタートです。

**開催日時** 平成29年11月18日(土)  
15:50~18:30 (受付15:30~)

**集合場所** ツカキスクエア京都 8階ホール  
京都市下京区烏丸通仏光寺上ル二帖半敷町 661  
からすま京都ホテル南隣 地下鉄四条駅 6番出口すぐ

### 講座内容 基調講演1 「CSR経営の原点とその流れ」

【講師】 島本晴一郎 (京都文教大学社会学部教授、京都CSR研究会)

### 基調講演2 「三方よしの原点とその流れ」

【講師】 塚本喜左衛門 (NPO法人三方よし研究所理事長、ツカキグループ代表取締役)

■ 参加費 一般：500円 (当日会場にてお支払いください) 学生：無料

■ 申込締切 定員(80名)に達し次第締め切らせていただきます。



島本晴一郎氏

### 交流会 講座終了後、隣接のからすま京都ホテル「桃李」(参加費 6,000円)にて開催

交流会ご参加の場合は、11月15日(木)までにお申し込みください。定員30名に達し次第締め切らせていただきます。

※3日前からキャンセル料がかかりますのでご注意ください。

【主催】 NPO 法人<sup>さんほう</sup>三方よし研究所 滋賀県彦根市鳥居本町655-1 TEL.0749-22-0627

【共催】 京都CSR研究会 【本事業についてのお問合せ先】 TEL.090-7090-1923 担当: 田中恵里子

## 参加申込書

三方よし講座	参加します	交流会	参加します ・ 参加しません
(ふりがな) ご氏名			学生 ←該当の方は○をお願いします
ご連絡先	〒 ご住所		携帯TEL FAX Eメール

chapter I

# 国際協力との出会い 企業の社会的責任とは

最近、英国の諸NGOが連携した Make Poverty History という貧困撲滅キャンペーンが盛んです。アフリカでは一日3万人（3秒に一人）の子ども達が貧困のためにその命を無くしており、我々はそのような現実を、日常生活において意識しながら行動を起こしていこうと言うのがこのキャンペーンのねらいです。ロックスター、スポーツ選手やアイドルなどの著名人が先頭に立ち、ホワイトバンドを腕にはめて、3秒に一度指を鳴らすというPRをご覧になった方もおられるでしょう。最近、日本でもホワイトバンドを身につける若い方々を目にすることが多くなりました。

グローバリゼーションが進展して、我々先進国の市民生活は確かに豊かになりましたが、その一方で、所得格差は拡大し、途上国には今なお難民生活、飢餓、疾病、貧困にあえぐ人たちが多数存在しています。世界銀行の報告では、この地球上で一日1ドル以下の所得で生活している最貧困層人口は、12億人（5人に一人）もおります。彼らはいわばかつかつの生存レベルの生活を余儀なくされている人たちです。先般の英国グレンイーグルズで行われたG8サミットや、秋口の国連総会において、あらためてミレニアム開発目標（MDG；Millennium Development Goal）<sup>\*1</sup>への各国の決意が確認されたのも、今や貧困撲滅が万国共通の喫緊事となっていることを表します。まさに、グローバル化の恩恵は裕福な人たちが独占するのではなく、未だ困窮の状態にある地球市民にまんべんなく及ばせなければなりません。国際協力はそのことを念頭に置いて、政府も民間企業も市民も主体的に関わっていく時代に入ってきたのではないのでしょうか。

私は、前職（国際協力銀行）における民間企業の貿易や海外投資に関する公的資金協力や、また、その後出向した世界銀行<sup>\*2</sup>における、民間企業とのパートナーシップ促進活動を通じ、国際協力における民間セクターの役割の重要性を痛感してきました。確実に言えるのは、今やグローバルに活躍する多くの企業が、それらが拠点とする地域や工場のある地域において、どうやって貢献できるかを考えながら、利益活動を行う時代に入りつつあると言うことです。その際にキーワードとなるのが「CSR（企業の社会的責任）」と言う概念です。これからそのCSRについて説明していきましょう。

## ※1 ミレニアム開発目標 (MDG)

2000年9月ニューヨークで開催された国連ミレニアムサミットで採択された、世界の貧困削減に向けての21世紀の開発目標のこと。具体的には2015年までに以下の8項目を達成することが盛り込まれている。(1)極度の貧困と飢餓の撲滅、(2)初等教育の完全普及、(3)ジェンダーの平等と女性のエンパワーメント達成、(4)子どもの死亡率削減、(5)妊産婦の健康の改善、(6)HIV/AIDS・マラリア等の疾病の蔓延防止、(7)持続可能な環境作り、(8)グローバルな開発パートナーシップの構築。

## ※2 世界銀行

世界銀行は、一般に国際復興開発銀行 (IBRD)、国際開発協会 (IDA) を意味する。これに姉妹機関である、国際金融公社 (IFC)、多国間投資保証機関 (MIGA)、国際投資紛争解決センター (ICSID) をあわせて世界銀行グループと呼ぶ。世界銀行は戦後の世界経済の安定と復興をめざして発足した。日本も世界銀行から戦後の復興に必要な資金を多額借り入れ、高速道路、電力、新幹線などの開発などを進めてきた。日本が最後に借り入れを行ったのが1966年。1990年には最後の借入を完済し、現在は世界銀行の第二の資金供与国となり、世界銀行の重要なパートナーとなっている。

## ➔ Chapter II ～は京都文教大学HPへ

### 講師プロフィール

#### 島本晴一郎氏

京都CSR研究会代表幹事、京都文教大学総合社会学部教授

1949年和歌山県生まれ。

1974年日本輸出入銀行（現国際協力銀行）入行。

当行にて途上国経済調査、企業の海外投資融資、途上国政府向け融資、国際関係広報業務、タイ、インドネシアなどの海外駐在経験を経て2000年に世界銀行に出向。

民間企業やNGOによる世銀連携プロジェクト（ビジネスパートナーシップ）の形成に従事。

2004年より京都文教大学・現代社会学科にて教鞭をとり、今日に至る。

### 京都CSR研究会について

2003年10月に世銀研究所（当時）CSRミッションの来訪を機に、京都在住の企業人、行政職員、NPO職員、大学研究者、学生、市民、国際機関職員などの発起により組織化された任意団体。爾来月例会を開催して今日に至る（2017年10月にて第150回月例会研究会を迎える）。言わば、「CSRをキーワードとした異業種サロン」。